

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-4-1
経営革新及び経営基盤の強化への支援

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 建設産業対策室長 深田 明 電話番号 0852-22-6429

事務事業の名称	建設産業経営基盤強化支援事業	
目的	(1) 対象	中山間地域等に本店を置く建設業者等
	(2) 意図	建設業者等の経営基盤強化及び中山間地域等の経済活性化を図り、地域雇用を創出する。
事業概要	建設業及び土木建築サービス業以外の異分野へ進出する建設業者等が、進出を検討するための調査・研究事業等を助成し、また進出にあたっての設備投資に係る補助を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	建設産業の異分野進出による雇用創出数（4年間の累計）	目標値	(20.0)	20.0	40.0	60.0	80.0	人
	式・定義	進出異分野事業に従事する新規雇用者数（中山間地域等）	取組目標値						
			実績値	(5.0)	3.0	3.0			
2	指標名		達成率	25.0	15.0	7.5	-	-	%
	式・定義		目標値						
			取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	22,608	70,019
うち一般財源 (千円)	22,608	70,019

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成18年度より建設業者等の新分野事業進出支援を開始し、平成27年度までの実績は、新分野事業進出支援件数78件、雇用増加452名となっている。更に、平成28年度からは行政資源をより集中投下し、中山間地域等の建設業者等の支援に特化、地域における雇用創出に重点を置いた取組を行っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

1 新規雇用創出 0名
2 潜在需要発掘 30件
〔内訳〕
採択 0件（計画認定1件）
見送 13件
継続 17件

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
異分野事業への進出意欲はあるが、以下の理由等により、見送りとなった事例が複数発生。
〔見送理由〕
・事業計画が曖昧であったり、収支見通しが不十分
・他の制度や補助金等を利用
・自己資金により対応、など

②困っている状況が発生している「原因」
これまで建設産業主体に取り組んでいた事業者にとっては、異分野事業進出のハードルが高い（何から取り組めば良いのか、どうすれば上手くいくのかわからない）。

③原因を解消するための「課題」
異分野事業に進出する前段階で、収支見直しや雇用確保も含め、ある程度明確かつ具体的な事業計画を策定する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

異分野事業進出支援のために配置している異分野進出コーディネーター2名について、現在は進出後の事後指導に軸足を置いた取組となっているが、従来以上に事前の事業計画策定支援に重点を置いた指導を行うよう努める。
また、異分野事業進出需要の把握及び潜在需要の発掘についても、建設産業団体や商工団体等を通じて一層の制度周知に努めるとともに、異分野進出コーディネーター2名による巡回活動や分野別交流プラザ、建設産業団体からのヒアリング等により、引き続き情報収集に努めるものとする。